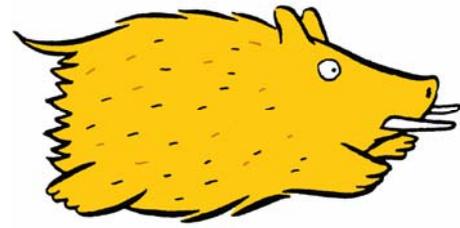




ご近所トマソン隊かなあ



関内編

by うさお

横浜と言えば「元町」、東京で言えば「六本木」、「原宿」ってな処ででしょうか？異国情緒と維新の雰囲気漂うお洒落な町です。結構、元町には国内でも著名なお店も沢山あるのです。

「きたむら」、「みはま」、「FUKUZO」、「pompador」なんてのが良く知られていますね。

高校時代に憧れだったフェリス女学院の学生さんは、他校の女学生さんとは一線を画す、明るい水

元町カレーのお店に出かけたトマソン隊



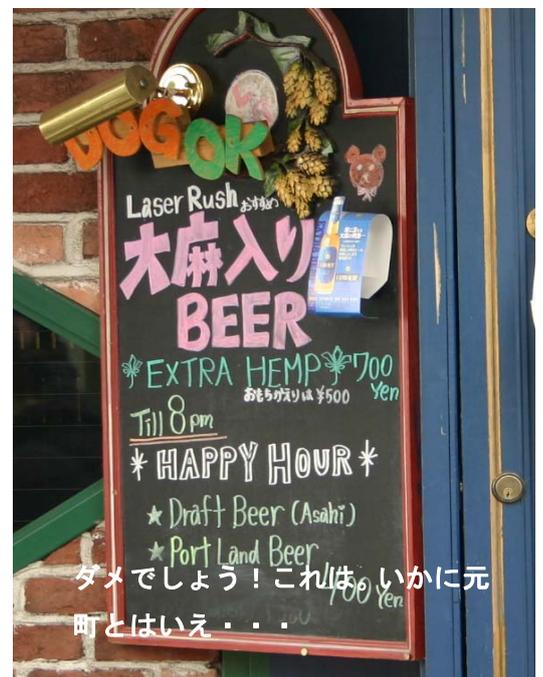
色の襟のセーラー服でした。

このフェリスの女学生さんが昔からご愛用してきたのが、「きたむら」のバック、「みはま」の靴、「FUKUZO」のドレスで、後に「ハマトラ」※注1と呼ばれるファッションはここで生まれます。



横浜はアイスクリン※注2、ビール、パン屋さんなどの発祥の地です。パン屋さんは、本来ならクラークさんと打木彦太郎さんが興した「ヨコハマベーカリーウチキ商店」を嚆矢とするのですが、うさおは「木村屋」や「pompador」のフランスパンが大好きです。拳骨パンと私達※注3が名付けたお尻の格好をしたパンもありました。

うさおはあの長いやつでも一口でペロリです。(ライちゃんはいいい子だ!なんでもパクパク食べる。お父さんもパク



パク食べる。血の繋がりは怖いなあ。)

それ以外にも、新聞、電信、劇場^{※注4}、床屋さんなど特に関内には維新当時のものが結構色濃く残っています。しかし、その軌跡を辿るのは容易ではありません。今の横浜は新しい建物が林立し、よほどの歴史的価値のあるものしか保存されていません。

反町にも遊郭があったということで行って見ましたが^{※注5}、〇〇楼跡なんて石碑もありませんでした。(花街だからしかたがないかなあ)

花街と言えば伊勢佐木町の福富町もかつてはソープラントで有名でありましたが、その以前はキャバレー街(福富太郎というキャバレー王がいた)だったし、それが今や韓流の町として有名らしい。ここにだってソープラント跡とはどこにも書いていません。

だから歴史って奴はお上品なんだからあ。音楽で言うなら、まあクラシックは認めるが、タッキー&翼なんて認められないってなことで、正史からは消されてしまうことも多々ありそう。



Cacco の友達のご主人が、本場中国のローピン(葱餅)を作りに来てくれた。だが手伝う風でもないライ隊員。

さすがに美空ひばりクラスになると像ひとつくらいは残されるけど、私達はせいぜい風俗史にかつての原住民てな扱いで写真が残るだけであろうね。

トマソン隊も、「横浜」や「我が町の今と昔」あたりから素材を拾ってきて、現地に取材に行ってみるが探せないこともしばしば。そんな思いを万感に込めてお贈り致します。横浜拾遺物語。



美空ひばり像



高島町 2代目 横浜駅遺跡

みなとみらい線の開通により、消えてしまった東横線の高島町と桜木町。その高島町にはかつての横浜駅があり、遺構がつい2年前くらいに掘り出された。**Cacco** 隊員の労作がこれ。

よく知られていることですが横浜駅は3代に渡って場所が変わっており、初代が桜木町駅でここから居留地の関内^{※注6}に人力車で行きました。

2代目が今や地下鉄の駅にしか名前が残っていない高島町駅だ。見事なレンガ造りの遺構が残っており、その頃の建築技術の高さを改めて感じますね。

その桜木町にモニュメントが残っていると言うし、また駅長室遺構があるということで行って見ました。

モニュメントの碑は直ぐに見つかりました。

しかし、駅長室跡が見つからない。鉄チャンぽい駅員さんにも聞いて見ましたが、モニュメントの碑は教えてくれたが、どうも駅長室跡は知らないらしい。

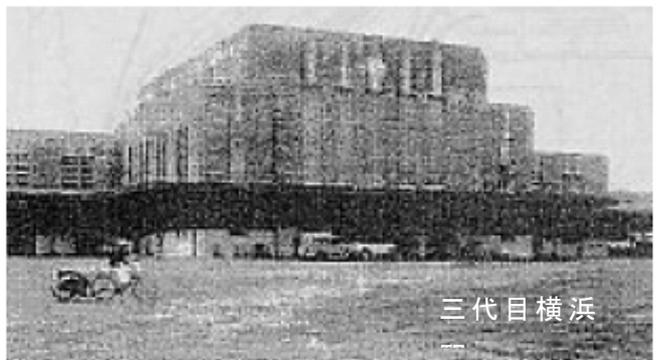
そう言えば微かに思い出したことがあったぞ。みなとみらい線に勤めていた友達から、



初代横浜駅



二代目横浜駅



三代目横浜



鉄道発祥の地のモニュメント。だけど、ライ隊員！格好が変だよ！おしっこなんかダメだからね。



横浜駅長室跡？

確か地下道の所にあるとかを聞いたような気がする。探す。探す。

あつ、あつた、あつた。

あつたけどこれじゃあ、普通の人は見つからないよ。よっぽどマニアじゃ無いとね。こんな小さいとは思いませんでした。ライ隊員も吃驚さつ。

さて今度はパーマー中尉の水道遺構を見に行きましょう。横浜は水道の発祥地であります。(参照、トマソン隊水道の項)



まずは中華街の外れにある下水道の遺構。

こんな所にひっそりとあります。中華街と元町の狭間にある中区下水道事務所の玄関です。その碑にはこうあります。「横浜の下水道の始まり：ここに展示の構造物は、昭和56年2月に中区山下町37番地地先から発掘された卵形下水道管である。明治3年に関内居留地区内全域に陶管を埋設した。これがわが国最初の近代的下水道であった。その後明治14年からこれをレンガ造りの下水道に造り



消防救急発祥の地

変えた。その断面が卵形をしていたので、卵形管と呼ばれる。このときの卵形管の一部は中華街南門通りで現在も使われている。」現在も使われているってえのが凄いですねえ。(江戸弁風に)

そして、山下公園の水道栓、開港資料館の庭にある水道栓は、以前にもご紹介しました。

開港資料館^{※注7}を出てすぐのシルクセンターの前の広場に水道の地下遺構がガラス張りで見えるようになっています。



ガラスが反射して見え難いですが、レンガの水道管があります。



山下公園の水道栓

さらに桜木町から野毛の通りに向かうと水道鉄管とパーマー中尉のレリーフがかざられています。パーマーさんの足跡は色んな所に残っているのです。そのまま足を野毛山に向け野毛山公園に行くとパーマー像が出てきます。その像の裏手にあるのが水道貯水池です。この水は居留区以外の横浜の街をも潤したのでしょう。そこの空気抜きの塔は明治っばい趣です。今日は何か犬の品評会をやっていたのか、犬だらけです。車に残してきてごめん、ライ隊員。



野毛山商店街にあるパーマー像



野毛山公園のパーマー像



野毛山の貯水池

この前会社に来た地盤屋さんが、以前行った川崎市の仕事で、その水道管をボーリングマシンで穴を空けて仕舞ったことがあるそう。それが二ヶ領用水につながるもので、地域一体が氾濫したとか、この用水も横浜の水道に用いられていました。



楽しそうな犬たち...

さてようやく本題です。って今までの前振りかい！関内はじいちゃんの項で述べたように西洋歯学の始まりの地です。中華街の南側に関帝廟（あの関羽を祀ってあるところ）の近くに歯科医師発祥の地の碑が建っています。また、ニューグランドホテル^{※注8}の裏側に歯科医学発祥の地の碑が建っています。残念ながらじいちゃんの名前はどちらにもありませんが。



そして鶴見には鶴見大学（総持寺が鶴見女子短期大学の延長線上に作った歯科大学）があり、その瀬戸教授※注9が建立したと言われる歯塚があります。抜いた歯の供養塚です。日出彦さんが以前行ったマイクロデバイスの供養のようなものですね。

ちなみに歯塚というのは、古くからあるもののお寺さんや神社さんに多く見られると聞いています。昔から歯というものにある畏怖の念を抱いていたのかも知れません。ちょっとノスタルジックですね。

こんなのもストックすると結構面白いかもしれない。全国にあると聞いているので、集めるのに至難の業かもしれない。由佳さんのお寺さんにも、この塚はあるかもしれないな。



歯塚



ビール井戸

の碑が建っています。

さて、最後が何となくトマソンです。鶴見の横溝屋敷の近くにある、まだ田園地帯ですがこの電柱は何故か赤く塗られています。それも限られた範囲だけですので、大変疑問です。さて、答えは何でしょう。



麒麟麦酒開源記念碑

高級住宅街なので

おどおどしているうさお



赤松のような電柱？ここだけ赤く、それ以外は普通！

- 1 周囲の木に見せかけた。
- 2 魔物を封じる結界である。
- 3 雷が落ちないように赤く塗ってある。

次回は又近郊の廃線をやりたいものです。

陸軍造兵廠専用鉄道

なんかですね。(^-^)/~

余計な注釈

- ※ 注1：ハマトラ Yokohama traditional のこと。横浜ベースターズ(TICA さん)と阪神タイガース(Cacco)のファンのことを言うのではない。類似の言葉に「ハマジル」というのがあるが、これも浜で取れたての魚介類の具沢山の味噌汁のことを言うのではない。Yokohama Jitterbug のこと。
- ※ 注2：アイスクリン 昔はこう発音されたね。アイスクリームのことです。自転車で売りに来ていた叔父さんは、「アイスクススー」って言って居た様に覚えていますけど・・・。
- ※ 注3：私達 まっ、幼き日のうさおの家族って事ですか。恥ずかしいから、他で「お尻パン」なんて言っちゃあダメですよ。
- ※ 注4：劇場 以前にトマソン隊で書きましたゲート座(本当はゲイティ座)のこと。当時のことですから紅灯緑酒に騒ぎもの！ってことでリクリエーションが求められていました。オランダ人ヘフトは新聞の発刊、ビールの醸造と横浜の物の始めに色々手を染めています。(横浜もののはじめ考 横浜開港資料館版より)
- ※ 注5：反町 神奈川大学の近くに、浜田省吾さんが住んでいたというアパートを TICA さんと探訪したときに、ついで行きました。何もありませんでした。反町の山のほうに横浜シネマ商会があります。佐伯永輔氏が興したもので、ニュース映画や NHK のテレビ放送の映画の現像など行っていました。NHK のすごいことはフィルムの運搬にセスナ機を使い、栗田谷中学の校庭に離着陸させていたことです。(わが町の今と昔より)



横浜シネマ



休みの日なのに立ち入る二人。

- ※ 注6：関内 居留外人と邦人を分けるための関所が設けてあったらしい。関内には馬車道、汽車道があり、汽車道は横浜万博のときに復元されました。「汐風號」、「浜風號」の2両の気動車が作られました。これに一度も乗っていないんですよ。横浜で行われた万博だったんで、すっかり馬鹿にしていたんですね。
- ※ 注7：開港資料館 横浜開港資料館のこと。子供の頃のここは、英国領事館だった。ユニオン・ジャックが翻っていたね。この前の海岸通りには、ミニ・ホワイトハウスを模した米国領事館があった。いまは創価学会池田講堂ですけどね。横浜は各国の領事館が集まっていたように思う。大使館は東京だったけどね。
- ※ 注8：ニューグランドホテル 戦後はGHQがこのホテルを占拠していました。マックアーサーが執務室としていました。もともと、横浜のお金持ちの間でのステータスな場所で、華僑が年間契約で宿を取っていたとか。最高の贅沢は、開港記念日の花火をこのホテルで会食を取りながら見ることだとか。ユーミンの歌でも有名です。スノップだね。
- ※ 注9：瀬戸教授 横浜の歯学学会に隠然とした政治力をもった先生。うわあ、善いんだろうか？こんなこと言っちゃって。最近歯学学会は何かと世間を騒がしていることだし。
- ※ 注10：ピアザケ通り ヘフト以前に横浜でビールを醸造していたのは、コーブランドでこの地、山手天沼にスプリング・ヴァレー・ブルワリーを開所しました。「天沼ピアザケ」として売出したので、この坂をそう呼びます。イタリア料理ではなく、鮭入りのピZZAのことではありません。